

令和6年度 鶴岡商工会議所 事業計画

※★は「アフターコロナの事業戦略ビジョンに基づく強化項目」

01 基本戦略の推進

(1) 先端性・伝統に基づく競争力のある企業の育成

- ★① DX、新技術の導入、付加価値の高い製品開発、イノベーションに資する研修会
- ★② 省力化、生産効率の向上に資する研修会
- ★③ 食のブランド化及び加工食品等の開発・販路開拓に係るセミナー
- ④ 高等教育研究機関及び研究成果に基づく企業との情報交換会(鶴岡サイエンスパーク連携プロジェクト「サイエンスパークまつり」の実施等)

(2) 魅力ある商店の育成と中心商店街の賑わいづくり

- ① 鶴岡TMO事業
- ② 元気な店づくりの推進(SNS等を活用した新規集客、販促セミナー)
- ③ 第三期中心市街地活性化基本計画に向けた事業の推進

(3) 「自然」「歴史」「文化」をテーマとした観光の推進

- ★① 中心市街地・城下町観光の推進
 - まちなか情報の充実(SNS活用による発信力強化)
 - 城下町ウォーキング
 - 花見ぼんぼりの設置及び桜まつりの支援
- ★② 日本遺産・食文化を活用した観光の推進
 - 鶴岡ツーリズムビューロー等との連携による旅行商品の企画(鶴岡ふんどガイドによる食・食文化体験等)
- ★③ 観光戦略ビジョンの策定、インバウンド対応強化
 - ④ 鶴岡まつり振興会議との連携による天神祭・荘内大祭の拡充

(4) 若者の地元就職の促進と意欲ある事業所の取組みを支える人材の育成

- ① 高校生・鶴岡高専生・山生大生・公益大生への地元企業に関する情報提供
 - 高校2年生向け企業紹介ガイドブックの製作・活用、つるおか仕事ナビの拡充
 - 鶴岡高専保護者及び山形大学農学部生への企業説明会
 - 採用実態調査
- ★② 企業の人材確保、能力向上の支援
 - 人事担当者のスキルアップ研修会
 - 新入社員教育セミナー及びフォローアップセミナー
 - 各種技能検定試験及び講習会

(5) 産業振興・地域活性化に向けた社会基盤の整備

- ① 高速交通網の早期整備に向けたシンポジウム
- ② 庄内空港の機能拡充に向けた研修会
- ③ 社会基盤整備に向けた活動への参加
- ④ 公共事業の確保に資する研修会
- ★⑤ 建築DX研究会運営推進

(6) 経営発達支援計画に基づく伴走型支援の充実

- ① 経済動向、需要開拓等に関する調査及び情報提供
 - 経済動向、需要開拓等に関する調査及び情報提供
 - 国・県・市等の経済施策の情報提供
- ★② コロナ明けの事業環境の変化に関する調査
- ★③ AI、デジタル化、キャッシュレス、SDGs、脱炭素など、今後の経営戦略に資するセミナー
 - 集中巡回指導の実施
- ★④ 新規創業、持続的経営、事業承継の推進
 - 経営分析・事業計画策定に資するセミナー
 - 創業、事業発展、事業承継に資するセミナー
- ★⑤ 事業計画策定後のフォローアップ(鶴岡ビジネス応援隊・専門家派遣、外国人技能実習生等人手不足対策支援)

このたびのコロナ禍は、地域・社会の在り方や価値観に大きな変化をもたらしたところであり、先端科学、食文化・農林水産物、多くの観光資源等、地域に内在する資源の価値を最大限に高めて地域を活性化させる好機と捉え行動する必要がある。

当会議所では、この間、コ

ナ明けの社会経済の大きな変化に対応していくため、各委員会・部会において、「アフターコロナの事業戦略ビジョン」を議論し設定したところであり、これに基づき①企業間連携の強化、②人手不足、2024年問題への対応強化、③脱炭素、SDGsへの具体的対応策の強化、④事業継承対策の強化、⑤空き店舗対策の強化、⑥観光振興に関する具体的戦略の強化、⑦海外輸出の強化の7項目を中期行動計画に強化項目と位置づ



け、取り組むこととしている。このため、予算においては、これら強化項目を中心に中期行動計画を推進するため、所要の事業費とともに、新規・

拡充した事業を可能な限り計上している。

地域の社会経済は、コロナ禍の影響を徐々に脱しつつあり、正常化が緩やかに進んでいるものの、円安、資材高騰、人手不足等の影響はなおも深刻で、取り巻く環境は、依然厳しい状況にあり、コロナ明けの環境変化に柔軟かつ適切に対応し変革を促していくことが求められている。

このため、令和6年度においては、この大きな変化の局面に

対応し挑戦する年度と位置づけ、今回設定した「アフターコロナの事業戦略ビジョン」に基づき、会員企業の収益力向上、自己変革力を最大限発揮できるように支援に全力を上げるとともに、ポストコロナの新たな時代の地域経済ビジョンをとともに描き始める年度となるよう、鶴岡商工会議所は、地域総合経済団体として関係機関等と連携を強めながら、引き続き会員事業所及び市民への貢献、役割の発揮を目指し取り組む所存である。



アフターコロナの変化に 対応した変革への挑戦

新年度特集 令和6年度 鶴岡商工会議所 事業 運営方針

2月の月例経済報告は、「景気は、このところ足踏みがみられるが、緩やかに回復している。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな回復が続くことが期待される。」との判断を示しながらも、「世界的な金融引締めの影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなり、また、物価上昇、中東情勢等の影響などに十分注意する必要がある。」としている。

当会議所の景況調査では、令和5年4月から6月期及び7月から9月期は、コロナ禍が収束に向かい、業況、売上げ、採算及び資金繰りとも改善傾向にあったが、その後、10月から12月期は原材料価格の上昇、人手不足などの影響も受け、業種によって悪化傾向が見られた。

鶴岡・庄内地域における今後の事業経営を取り巻く環境については、原油・原材料等の高騰や、円相場の不安定化、中国経済への懸念など、依然、環境の変化が激しく、極めて予測困難な状況が続いている。併せて、コロナ明けの需要拡大もあって人材不足がさらに深刻化するとともに、年明けの能登半島地震の影響により、市内温泉宿泊施設でキャンセルが続くなど、今後の地域経済



の動向が不透明となっている。こうした中で会員企業においては、コロナ融資返済など資金繰りの行き詰りや、先行き不安、後継者難での廃業がさらに増加する懸念もあり、こうした事業者への支援に引き続き万全を期すよう行政との連携を強めているところである。

一方、鶴岡市の人口減少は続いており、その影響は、人材の確保難という経営課題に留まらず、地域経済の縮小、都市機

定例常議員会

3月



2月



1月



●報告事項

- (1) 2月～3月の各種会議報告
- (2) 総務委員会開催報告
- (3) 地域活性化委員会開催報告
- (4) 雇用人材育成委員会開催報告
- (5) 企業活性化委員会開催報告
- (6) 社会基盤整備委員会開催報告
- (7) 建設工業部会・鶴岡建築DX研究会 合同視察研修報告

●協議事項

- (1) 新会員の承認について
- (2) 3月通常議員総会に付議する事項
 - ・令和5年度当所各会計収支補正予算(案)について
 - ・令和6年度当所事業計画(案)について
 - ・令和6年度当所各会計収支予算(案)について
 - ・令和6年度当所借入金の最高限度額(案)について

●報告事項

- (1) 1月～2月の各種会議報告
- (2) 各部会開催報告 (令和6年度当所事業に係る各部会からの意見・要望)
- (3) 議員の職務を行う者の変更について

●協議事項

- (1) 新会員の承認について
- (2) 3月通常議員総会について

●その他

- (1) 令和6年度鶴岡市当初予算について

●ゲストスピーチ

<テーマ>
「新NISAについて」
<講師>
財務省 東北財務局 山形財務事務所 理財課 専門調査員

大石 源太氏

●報告事項

- (1) 12月～1月の各種会議報告
- (2) 当所新年祝賀会・講演会・交流会開催報告
- (3) 当所観光推進研修会～これからの観光戦略ビジョンを考える～開催報告
- (4) 管内の10月～12月期景況調査集計結果について

●協議事項

- (1) 新会員の承認について

●その他

- (1) 鶴岡市 第2回消費喚起対策事業について

●ゲストスピーチ

<テーマ>
「鶴岡市中期観光戦略プランについて」
<講師>
鶴岡市 商工観光部 部長

阿部 知弘氏

新会員紹介

(株)フォトスタジオ ヴィエント

東新斎町13-20

写真・衣装業

榎本 浩

ITOdesigns 合同会社

加茂字坂ノ下194

建築設計、建築施工保全

伊藤 薫

maa Clay & Botanical Therapy

昭和町2-15

エステティック ハンドトリートメント・よもぎ蒸し

渋谷 まゆ美

焼鳥 あばれん坊

山王町15-40

居酒屋

高橋 裕介

Chillax Bar JACK

末広町15-3 RYUビル 1F

BAR

森屋 茂樹

(株)オオヤ鶴岡店

道形町20-11

新車・中古車販売、自動車検査・修理・車検・板金塗装

大矢 貴幸

ラウンジ我達人

錦町13-5 ヤマザキ錦町ビル2階C

ラウンジ

平藤 泰世

会員登録変更

店舗移転

日本料理 村上
→ 日枝字小真木原88-1(こまぎの湯)

事業所名変更

Good Harmony(同)鶴岡スエヒロ食堂 → Good Harmony(同)酒ト飯すえ店

組織変更

ツアーサポート東北 → (株)エターナルメモリーズ ツアーサポート東北 代表取締役 工藤 一郎

事業所名・代表者変更

船岡照明税理士事務所 → 船岡千晴税理士事務所 所長 船岡 千晴

代表者変更	石川美容院	代表	菅原 由紀
	(株)新池田	代表取締役	小柳 久根
	お食事 みその	代表	菅原 政俊
	(有)トガン機械	代表取締役	佐藤 俊勝
	鶴岡米穀商業(協)	理事長	遠藤 信男

	(資)鷺田民蔵商店	代表社員 経営統括責任者	鷺田 拓朗
	全日本空輸(株)庄内支店	支店長	高橋 雄二
	仮設機材工業(株)鶴岡営業所	所長	高橋 修
	松ヶ岡ガラス工業(株)	代表取締役	石田 英之
	TDKエレクトロニクスファクトリーズ(株)	代表取締役	山本 利昭

新年度特集

総括収支予算

(単位:千円)

会費	44,238
事業収入	89,224
補助金	55,139
その他	2,067
繰越金	17,892
計	208,560
基金繰越金	125,688
特定退職金共済	164,000
合計	498,248
人件費	85,120
管理費	14,908
事務費	12,174
事業費	57,245
その他	13,326
借入金返済	23,787
予備費	2,000
計	208,560
基金積立金	125,688
特定退職金共済	164,000
合計	498,248

収入

支出

3月通常議員総会

3月通常議員総会が3月28日(木)、東京第一ホテル鶴岡で開かれ、令和5年度の収支補正予算、令和6年度の事業計画、収支予算など9議案が原案通り承認された。その後、鶴岡出身のNTT東日本山形支店長の渡会俊輔氏より「DXとAIについて」と題してゲストスピーチをいただいた。

- ★ ● 鶴岡DX推進協議会の活動強化
- 事業者BCP策定に関するセミナー
- ③ 補助金・融資制度の活用支援
- やまがたチャレンジ創業助成金の活用支援
- 経営改善資金等各種融資制度の活用支援
- 持続化補助金等持続的経営・成長経営のための補助金等活用支援
- 消費税関連(インボイス制度)対策支援
- ④ 経営指導員等による指導・相談の充実
- 経営安定特別相談(アフターウィズコロナ時代の経営戦略セミナー)
- 記帳及び決算の指導
- BIZミルシステムの運用、経営指導員等の研修

02 重点事業の推進

- (1) 地域内での消費・取引の拡大、他地域への販路開拓に向けた取組みの強化
 - ① 販路開拓セミナーの開催(デジタルマーケティング勉強会)
- ★ ② 輸出活性化に関する支援事業の展開
- ③ ビジネスマッチ東北への出展支援
- ④ 会議所ホームページ等による会員事業所の取引・販路拡大に向けた情報提供
- (2) 観光誘客に向けた取組みの強化
 - ★ ① 食文化を核とした観光誘客プロジェクトの推進
 - ② 観光誘客に関する情報の提供
 - ③ 観光関連団体と連携した首都圏における観光誘客
 - ★ ④ 「鶴岡遺産」認証制度の立ち上げ・推進
- (3) 企業間連携の強化
 - ★ ① 企業間での共同業務委託、共同委託の仕組みに関する調査研究
 - ★ ② 新たな異業種交流連携に関する研究、企業連携プロジェクト創発、高校生探求学習連携
 - ★ ③ 遊佐・酒田の洋上風力発電に関する庄内全体での経済波及効果を目指した連携強化
- (4) 人手不足、2024年問題への対策強化
 - ★ ① 外国人雇用、DX・AIによる効率化をはじめとする人手不足対策強化に関する具体的促進策の強化
 - ★ ② 2024年問題への対応策の検討強化
- (5) 公民共創のまちづくり推進
 - ★ ① 公民連携によるまちづくりエリアマネジメント組織の検討

03 会議所機能の強化

- (1) 会議所の地域プロデュース機能・コーディネート機能の発揮
 - ① 部会、青年部及び女性会活動の活性化
 - ② 地域活性化に係るキーパーソンとの交流
 - ③ 次世代の産業・経済リーダーの育成に資する研修会の開催
 - ④ 政策提言・要望活動の拡充
 - ★ ⑤ 酒田・鹿児島商工会議所との連携強化
- (2) 会員事業所及び市民へのお役立ち度の向上
 - ① 会議所報、ホームページ及びLINEによる情報の提供・発信の拡充
 - ② 会員事業所従業者の表彰及び会員事業所の顕彰
 - ③ 会員のつどい及び新年祝賀会の開催、会員レクリエーション事業等の実施
 - ★ ④ 会員共済制度の加入促進(唾液がん検査補助)の拡充、健康経営の普及促進
- (3) 組織・財務基盤の強化
 - ① 会員増強活動の拡充
 - ② 会員共済制度の加入促進(再掲)
 - ③ OJT、研修会参加、資格取得の奨励等による職員の資質向上
 - ④ 日本商工会議所等の補助金の積極導入